

1 将来の広島県広域道路ネットワーク

「広島県道路整備計画2011」に基づき、次のような広域道路ネットワークづくりを目指します。



〈 凡 例 〉	供 用		未 供 用		備 考
	H22	H26(予定)	事 業 中	未 着 手	
高規格幹線道路	—	—	—	□□□□	高速自動車国道・国土開発幹線自動車道・本州四国連絡高速道路など
地域高規格道路	—	—	—	□□□□	直轄国道の一部、広島高速道路・福山環状道路・広島中央ライトロードなど
道 路	—	—	—	□□□□	益田廿日市道路・福山御調道路など
広域道路	—	—	—	□□□□	
地域形成型	—	—	—	□□□□	
検討区間	—	—	—	□□□□	

2 施策実施による成果目標

施策項目への貢献度について具体的な評価指標（アウトカム指標）を掲げ、その指標についての成果目標を設定しました。

No.	施策項目	評価指標	成果目標	
			H22 年度末 現状	H26 年度末 目標
①	広域的な交流・連携基盤の構築	広島市2時間交通圏	545万人	555万人
		県内80分交通圏	266万人	268万人
		高速道路IC20分交通圏	253万人	276万人
②	グローバルゲートウェイ（空港・港）へのアクセス強化	広島空港2時間交通圏	633万人	644万人
		広島空港40分交通圏	75万人	79万人
③	物流機能の強化	産業団地～高速道路ICへの連絡強化（高速道路ICに20分で到達できる産業団地数）	92団地	97団地
④	観光産業への支援	主要観光地～高速道路ICへの連絡強化（高速道路ICに20分で到達できる主要観光地数）	303箇所	336箇所
⑤	災害に強い道路ネットワークの構築	緊急輸送道路の整備済延長（要整備延長154km*1）	14km	30km
		橋梁耐震補強（落橋・倒壊対策）の完了率*2	90.5%	100%
⑥	安心できる道路空間の形成	二次救急医療15分圏域	263万人	265万人
		整備の必要な通学路の整備済延長（要整備延長：161km*1）	19km	38km
⑦	都市を支える道路の整備	混雑区間（混雑度1.0以上）の緩和箇所（要対策箇所112箇所*1）	10箇所	20箇所
		主要渋滞ポイント（58箇所）の緩和箇所数（対策事業の完了箇所数）	—	17箇所
⑧	中山間地域を支える道路の整備	現況1車線バス路線区間の整備済延長（要整備延長82km*1）	4km	9km
		新市町中心地への30分交通圏	221万人（77.0%）	222万人（77.3%）
⑨	合併後のまちづくりを支える道路の整備	合併建設計画区間の改良済箇所（全体計画：443箇所）	217箇所（49%）	269箇所（61%）

※1 H19年度末時点

※2 S55年以前の道路橋示方書により設計された橋梁を対象。この対策が完了以降も、H14道路橋示方書対応の対策が引き続き必要。